

理工学部
社会基盤デザイン, 機械科学, 応用化学システム, 電気電子システム, 情報光システムコース学生の
他コース専門科目の履修について

卒業するためには、応用理数コース専門科目の単位修得が必要です。※
 応用理数コース専門科目履修にあたり、優先的に受講できる科目は表のとおりです。参考にして履修してください。
 なお、表にない科目の履修を制限するものではありませんが、表にない科目を履修する場合、受講可否は科目担当
 教員の判断によります。ただし、教員免許を目的とする場合を除き、自コース専門科目として開講されている科目
 と同名の科目は履修できません。

※履修の手引より抜粋（各自でも各コース記載内容確認のこと）

社会基盤デザインコース、機械科学コース、応用化学システムコース、電気電子システムコース、情報光システムコースについては、応
 用理数コースのコース専門科目から2単位以上を修得してください。なお、他コースのコース専門科目から修得した単位は12単位を上
 限として卒業要件単位（専門教育科目の選択科目）に含むことができます。

注意事項： 応用理数コースの受講生が優先されます。受入人数を超える場合は、抽選が行われる場合があります。

表記について

○…受講可。コース優先枠あり。 空欄…受講可 ×…受講不可

応用理数コース 科目名	受講指定					受入人数	受講指定コースでの受入人数 ()内は履修指定時期
	社会 基盤	機械 科学	応用 化学	電気 電子	情報 光		
1年前期 物理学の基礎	○	×		×	○	(注1)	社会基盤20名(1年前期以降) 情報光システム情報系23名(2年前期) 情報光システム光系14名(2年前期)
1年前期 生命科学の基礎	○	×	○	×	○	(注1)	社会基盤20名(1年前期以降) 応用化学30名(2年前期) 情報光システム情報系23名(2年前期) 情報光システム光系14名(2年前期)
1年前期 数学基礎	○	×		×		10~20	社会基盤10名(1年前期以降)
1年前期 計算機概論	○	×	○	×	×	40	社会基盤20名(1年前期以降) 応用化学20名(2年前期)
1年後期 化学の基礎	○	×	×	×	○	(注1)	社会基盤20名(1年後期以降) 情報光システム情報系23名(2年後期) 情報光システム光系14名(2年後期)
1年後期 地球科学の基礎		×	○	×	○	(注1)	応用化学30名(2年後期) 情報光システム情報系23名(2年後期) 情報光システム光系14名(2年後期)
1年後期 プログラミング演習1		×		×	×	20	
2年前期 代数基礎1		×		×		20	
2年前期 無機化学1			×			10~15	
2年前期 生物化学1		×		×	×	10~15	
2年前期 構造地質学1	○					10~15	社会基盤5名(2年前期以降)
2年後期 代数基礎2		×		×		20	
2年後期 確率・統計2 (注2)		×		×		20	
2年後期 解析力学	×	×	×	○	×	80	電気電子75名(2年後期)
2年後期 応用地形学	○	×	×	×	×	5	社会基盤5名(2年後期以降)
3年前期 波動論	×	○	×	×	×	80	機械科学80名(3年前期)
3年前期 物性科学1	×	○	×	○	×	80	機械科学40名(3年前期) 電気電子40名(3年前期)
3年前期 放射線科学						10~15	
3年後期 物性科学2	×	○	×	○	×	80	機械科学10名(3年後期) 電気電子5名(3年後期)

(注1) 教室で収容可能な範囲

(注2) 学科共通科目の「確率統計学」を履修済である必要はないが、「確率統計学」の確率に関する知識を有していること

理工学部 応用理数コース学生の 他コース専門科目の履修について

卒業するためには、他コース専門科目の単位修得が必要です。※

応用理数コース学生が他コース専門科目を履修する際に、優先的に受講できる他コース科目は表のとおりです。

参考にして履修してください。

なお、表にない科目の履修を制限するものではありませんが、表にない科目を履修する場合、受講可否は科目担当教員の判断によります。ただし、自コース専門科目として開講されている科目と同名の科目は履修できません。

※履修の手引より抜粋（各自でも各コース記載内容確認のこと）

応用理数コースについては、他コースのコース専門科目から6単位（2020年度以降入学者は2単位）以上を修得してください。なお、他コースのコース専門科目から修得した単位は12単位を上限として卒業要件単位（専門教育科目の選択科目）に含むことができます。

注意事項： 開講コースの受講生が優先されます。受入人数を超える場合は、抽選が行われる場合があります。

開講コース	科目名	受入人数	備考	
社会基盤デザイン	1年後期	社会基盤デザイン総論	20	
	1年前期	建築物のしくみ	20	
	1年前期	基礎解析演習	15	
	2年前期	水理学1及び演習	教室で 収容可能な範囲	
	2年前期	建築史	20	
	2年後期	生態系の保全	10	
	2年後期	水理学2及び演習	教室で 収容可能な範囲	
	3年前期	鉄筋コンクリート力学	10	
	3年前期	都市・交通計画	10	
	3年後期	河川工学	教室で 収容可能な範囲	
	3年後期	合意形成技法	5	
	3年後期	建築構造計画	10	
機械科学システム	1年前期	機械計測1	Aクラス10名 Bクラス10名	
	1年後期	加工学1	Aクラス10名 Bクラス10名	
	2年前期	熱力学1	Aクラス10名 Bクラス10名	
	2年後期	流体力学1	Aクラス10名 Bクラス10名	
応用化学システム	1年前期	基礎分析化学	20	
	1年後期	基礎無機化学	Aクラス10名 Bクラス10名	
	1年後期	基礎物理化学	20	
	2年前期	化学工学基礎	Aクラス10名 Bクラス10名	
		有機化学1及び有機化学2を除く応用化学システムコースの全講義科目(2単位科目のみ)	各講義5名まで	アドバンスト科目(化学系の学生のみ対象)
電気電子システム	1年前期	電気エンジニアリング入門		1年次のみ履修可能
	1年後期	電気回路1及び演習	20~30	履修すると電気電子システムコース他科目が履修可能となります。 ただし、週2回(2講時×2回)の受講が必要です。
	2年前期	半導体工学基礎	20~30	電気回路1及び演習を未履修でも履修可
	2年前期	エネルギー工学基礎論	20~30	電気回路1及び演習の履修が前提
	2年前期	基礎制御理論	20~30	電気回路1及び演習の履修が前提
	2年後期	電子回路基礎	20~30	電気回路1及び演習の履修が前提
	2年後期	情報通信基礎	20~30	電気回路1及び演習の履修が前提
	2年後期	過渡現象	20~30	電気回路1及び演習の履修が前提
	2年後期	論理回路	20~30	電気回路1及び演習を未履修でも履修可
	3年後期	照明電熱工学	20~30	電気回路1及び演習を履修しておくことが望ましいが、未履修でも受講可
情報光システム	1年前期	光の基礎	10	
	1年前期	離散数学	20	
	1年後期	アルゴリズムとデータ構造	20	
	2年前期	数理論理学	20	
	2年前期	基礎光化学	5	
	2年後期	光・電子物性工学	10	